

海を活かしたまちづくり・行動計画



平成 14 年 度

船 橋 市

目 次

はじめに

1. 趣旨 1
2. 期間 1
3. 事業推進に向けて 1
4. 各課対応事業一覧 2～

(付録)

海を活かしたまちづくり庁内検討委員会規約

海を活かしたまちづくり・行動計画

1. はじめに

本市では、まちづくりを総合的、計画的に推進するため、平成12年4月にスタートした船橋市総合計画にもとづき、「生き生きとしたふれあいの都市・いなばし」をまちづくりの目標に市政を展開しています。

このなかで位置付けられている「海を活かした魅力あるまちづくり」を実現するため、平成12年度から市民参加によるさまざまな検討を経て、「海を活かしたまちづくり基本構想・基本計画」を策定しました。

この事業のコンセプトは船橋の資産・財産である海、そして海から発生し歴史を築いてきた地域文化（個性）の掘り起こしやこれからの文化の創造にあります。

これからの成熟社会では都市交流・市民交流が大きな流れになると思われます。本市においてより豊かな交流時代を築くためにもその舞台となるまちなか空間の個性化が重要であり、その良し悪しによって本市の魅力の評価が定まることとなります。

「海を活かしたまちづくり基本構想・基本計画」は、市民、企業、各種団体の方々と本市が同じ方向に向かって合理的によりよい事業の推進や活動を行っていくことが大切です。

事業の推進にあたっては、現在の本市における財政状況の悪化やマンパワーの体制など、これから解決していかなければならない問題が山積していますが、各事業の担当部署を明らかにし、できることから始めることも大切だと考えています。

今後は、海を活かしたまちづくり基本構想・基本計画および本行動計画を道標として、市民との協働のもと、限られた予算で最大の効果が発揮できるように、各事業を連携しながら海を活かしたまちづくりを推進したいと考えております。

関係各位のご協力とご支援をお願い申し上げます。

1. 趣旨

「海を活かしたまちづくり基本構想・基本計画」は、公募による市民や地元自治会、商店会、企業など多くの関係者の参加を得て策定しています。そして船橋の臨海部を地域ごとの特色により整備のイメージを明確にし、海をテーマとするまちづくりの具体化に向け施策の方向や主要事業を整理したものです。

この主要事業は、参加された委員のまちづくりに対する強い思いにより、まちづくりの目標や具体的な事業が記述されています。

そこで、これら主要事業を実現するためには、実施事業の掘り起こしや主要事業と現時点での各課との関係を明らかにし、事業展開を推進する必要があることから行動計画を策定しました。

2. 期間

行動計画の目標年次を総合計画の基本計画を参考に以下のとおり3期の別に定めます。

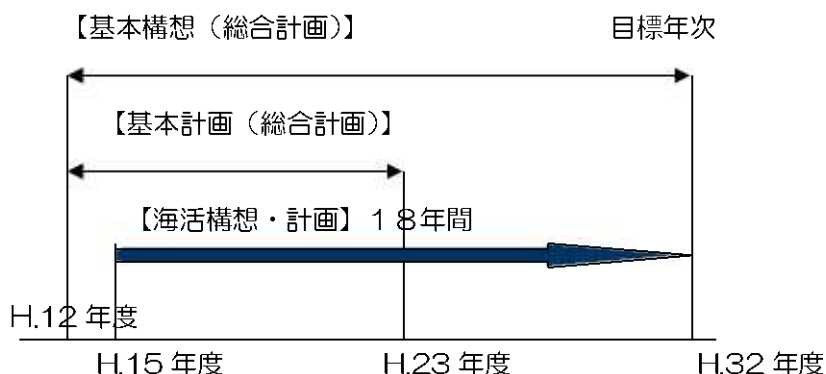
また、必要に応じて行動計画を見直します。

【短期】 平成15年度～平成18年度（4年間）

【中期】 平成15年度～平成23年度（9年間）

【長期】 平成15年度～平成32年度（18年間）

（参考）海を活かしたまちづくり基本構想・基本計画の期間



※平成19年度に、一部の事業について、内容、期間、担当課の見直しと変更を行いました。

3. 事業推進に向けて

基本構想・基本計画にもとづく行動計画を効果的・効率的に推進するためには、各事業間の情報交換など各課相互の連携や協力が必要不可欠であり、関係各課の横断的な推進体制が必要です。

今回の事業は地域に根付いた資源や資産を活用して推進していくものであり、市民や地域の住民との共同による事業の推進を図っていきます。

各地域の中で早急に取り組むべき重点地域を抽出して、具体的なまちづくりに向けて集中的に検討を進め実施を図ります。

必要に応じて実施事業の評価と改善をしていくことで魅力あるまちづくりを実践します。

主要事業	課での取組	具体的内容	問題点・課題	関係団体	期間	軸名	ゾーン名	担当課
海老川の自然の生態系を学ぶ場や機会をつくる。	環境学習の実施	船橋市の水環境の現状や家庭でできる生活排水対策をクイズ形式等で解説	都市河川での水への関わりが少ない		短期	経済軸	海老川ゾーン	環境保全課
自然浄化や人による浄化を検討し、実行する場を設け、水のことを学べる環境とする。	生活排水対策推進計画の見直し	平成4年度に策定した船橋市生活排水対策推進計画を見直し、新たな計画を策定する。	わかりやすい目標設定、進捗状況の把握		短期	環境軸	海老川ゾーン	環境保全課
海老川については多自然型河川に改良し、金杉地区はビオトープを整備し、歩道の充実を図る。	環境保全施設整備 (環境省補助事業)	金杉川、馬込第一調整池、馬込霊園の拡張によって確保される緑地等の公共用地を一体的にビオトープ空間として創出し、金杉緑地、谷津田を散策できる回遊路を整備する。	農地を含めた土地の担保優遇措置の検討		中期	観光・交流軸	海老川ゾーン	環境保全課 河川整備課
金杉ビオトープ計画地、海老川調節池との連携調整を図りながら、環境を学ぶ場を整備する。	環境保全施設整備、 海老川調節池整備	ビオトープの整備計画段階から愛護団体等との連携をとり、ボランティアによる維持管理を視野に入れながら、指導員の育成と自然観察、環境学習のための施設を整備する。	ボランティアによる維持管理助成制度の確立	施設管理者	中期	観光・交流軸	海老川ゾーン	環境保全課 河川整備課
自然浄化や人による浄化を検討し、実行する場を設け、水のことを学べる環境とする。	環境共生モデル事業 (グラウンドワーク)	金杉台団地の調整池内に北谷津川の河川水を引き込んだビオトープ浄化池を創出し、地域や愛護団体、学校生徒の参加による環境づくり、河川浄化を実践する。	施設管理者の都市再生機構(旧都市基盤整備公団)との調整	都市再生機構、地元自治会、環境系NPO他との連携	中期	環境軸	海老川ゾーン	環境保全課 河川整備課
コンクリート護岸を自然護岸にする。	普通河川における多自然型護岸の整備	(普)北谷津川、念田川、高根川を多自然型護岸で整備	用地取得に多大な時間と費用がかかる。		長期	環境軸	海老川ゾーン	河川整備課

各課対応事業一覧

【海老川ゾーン】

コンクリート護岸を自然護岸にする。	河川基本計画の策定	気軽に水辺にふれることのできる多自然・親水護岸の計画を策定	河川改修補助事業とする場合、法河川への変更が必要。		長期	環境軸	海老川ゾーン	下水道河川計画課
ヘドロなどの処理対策を促進し、ヘドロが溜まることを大学等の研究機関で実証し、住民が声をあげ県・国に申し入れる。	海老川の水質浄化	水質・底質の調査、工場等の規制、水質浄化のための生活排水対策推進計画の推進等を引き続き実施する。		県	長期	環境軸	海老川ゾーン	環境保全課
河口部にヘドロ溜まりをつくり、海への流入を防ぐと同時にその回収を促進する。	河口部のヘドロ対策	ヘドロ対策を県に要望する。		県	長期	環境軸	海老川ゾーン	下水道河川計画課
花見や各種イベントを開催する。	船橋市観光協会に対する補助	海老川沿いに照明器具を設置し、夜間ライトアップをすることにより観光客の誘致を図っている観光協会に対し補助を行っている。		船橋市観光協会等	長期	経済軸	海老川ゾーン	商工振興課
海老川をボート、カヌー等で楽しめるような名所にする。	海老川調節池の多目的利用	海老川調節池の常時水面を活かした親水空間の整備を県へ働きかける。	県海老川調節池整備事業との整合。	県	長期	環境軸	海老川ゾーン	都市計画課
海老川を活かすために、海老川調節池や21世紀に向けた自然環境を重視した周辺の区画整理事業との整合を図るとともに、バリアフリーに配慮した、緑道、公園、休憩所や茶店などが立地可能な環境整備を推進する。	河川等浚渫清掃除草作業	海老川の環境を活かすため、海老川に流入する市管理の河川の除草・清掃・浚渫を行い、海老川水系の環境向上を推進する 除草 年1～2回実施 清掃 月2回実施 浚渫 2～3年に1回			長期	経済軸	海老川ゾーン	下水道河川管理課
海老川を活かすために、海老川調節池や21世紀に向けた自然環境を重視した周辺の区画整理事業との整合を図るとともに、バリアフリーに配慮した、緑道、公園、休憩所や茶店などが立地可能な環境整備を推進する。	海老川排水機場管理	船橋港の高潮対策として設置された県の排水機場・水門の管理を適切に行うと共に、今後同施設の改修を県にて行う場合、行動計画の主旨に併せた整備を行うよう県に要望する。1年365日昼夜間管理		県	長期	経済軸	海老川ゾーン	下水道施設課

各課対応事業一覧

【海老川ゾーン】

海老川を活かすために、海老川調節池や 21 世紀に向けた自然環境を重視した周辺の区画整理事業との整合を図るとともに、バリアフリーに配慮した、緑道、公園、休憩所や茶店などが立地可能な環境整備を推進する。	海老川調節池の多目的利用	平常時には都市における緑地空間としての多目的利用が可能であることから、周辺の市街地などと調和が図れる河川空間としての整備と安全で良好な河川環境づくりを県へ働きかける。		県	長期	経済軸	海老川ゾーン	都市計画課
海老川を活かすために、海老川調節池や 21 世紀に向けた自然環境を重視した周辺の区画整理事業との整合を図るとともに、バリアフリーに配慮した、緑道、公園、休憩所や茶店などが立地可能な環境整備を推進する。	公園・緑道の維持管理	公園・緑道の管理		県	長期	経済軸	海老川ゾーン	みどり管理課
海老川を活かすために、海老川調節池や 21 世紀に向けた自然環境を重視した周辺の区画整理事業との整合を図るとともに、バリアフリーに配慮した、緑道、公園、休憩所や茶店などが立地可能な環境整備を推進する。	海老川調節池の多目的利用	海老川調節池の公園的利用		県	長期	経済軸	海老川ゾーン	みどり推進課
海老川沿いの桜並木を桜の名所にする。	海老川上流地区土地区画整理事業	桜並木、海老川、調節池が一体となった憩える空間を整備する検討を進める。	区画整理事業の事業計画との整合	海老川上流地区土地区画整理組合（現在準備委員会）	長期	観光・交流軸	海老川ゾーン	都市総務課
海老川沿いの桜並木を桜の名所にする。	維持管理	桜並木の管理		県	長期	観光・交流軸	海老川ゾーン	みどり管理課
海老川流域水循環再生構想を促進する。	海老川流域水循環系再生行動計画に基づいた事業の実施	①河川の整備(50mm/hr 対応) ②雨水貯留浸透施設の設置 ③PR、啓発活動 ④NPO 法人及びボランティア団体への支援	河川の整備及び雨水貯留浸透施設の設置には多大な時間と費用がかかる。	県	長期	観光・交流軸	海老川ゾーン	河川整備課 下水道河川計画課

海老川流域水循環再生構想を促進する。	海老川流域水循環系再生行動計画に基づいた事業の実施	公園・緑地の整備と保全		県	長期	観光・交流軸	海老川ゾーン	みどり推進課
桜の花見の季節に、屋台や露天が出店しやすい設備などの整備を行う。	船橋市観光協会に対する補助	海老川沿いに照明器具を設置し、夜間ライトアップをすることにより観光客の誘致を図っている観光協会に対し補助を行っている。	実現性について調査・研究する必要がある。(県等の道路管理者との協議が必要。)	県等	長期	経済軸	海老川ゾーン	商工振興課
自然浄化や人による浄化を検討し、実行する場を設け、水のことを学べる環境とする。	環境学習の推進	船橋市の水環境の現状や家庭でできる生活排水対策をクイズ形式等で解説	環境学習の担い手となる外部講師の積極的な活用、受入組織の整備、事業費の確保		長期	環境軸	海老川ゾーン	環境保全課
河岸における植栽の充実を図る。	維持管理	河川の樹木の管理		県	長期	環境軸	海老川ゾーン	みどり管理課
遊水池やため池での自然浄化だけでなく、流れ(回遊)からの浄化も試みる。	浄化を試みた河川の整備 河川基本計画の策定	水生植物が植栽され瀬・淵があるなど自然浄化効率の高い多自然川づくりを行う。	河川改修補助事業とする場合、法河川への変更が必要。		長期	環境軸	海老川ゾーン	河川整備課 下水道河川計画課

船橋市の歴史的遺産でもある寺町を保存し修景を推進する。	緑地保全地区指定	船橋大神宮を緑地保全地区に指定する。			中期	観光・交流軸	中心市街地ゾーン	みどり推進課
JR船橋駅南口再開発事業は、海の匂いがするように、デッキをさん橋のデザインにしたり、歩道に道案内などを設置して海へ導く。	立体横断施設整備	船をイメージした立体横断施設(デッキ)を整備する。			短期	観光・交流軸	中心市街地ゾーン	都市整備課 (南口再開発事務所)
特長的街並み(御殿通り・本町通り等)を保存・再生する。	芸術文化活動拠点整備	市民の多様な芸術文化活動に応じるため、また、市民が気軽に芸術文化にふれ親しめるよう、新しい文化創造の拠点となる芸術文化施設の設置について、芸術文化施設構想懇談会を設置し、中心市街地ゾーンにふさわしい施設についての計画づくりを進める。また、本町4丁目都市公園隣接地を候補地とし、(仮称)清川記念館整備を進める。	事業費の確保		中期	観光・交流軸	中心市街地ゾーン	文化課
建物の屋上や壁面に緑を取り入れ、駐車場の床に透水性ブロックや芝生を利用するなど、なごみを感じる環境にやさしい商店街にする。	屋上緑化整備	船橋駅南口再開発事業に伴い、低層階屋上の緑化整備を行う。			短期	観光・交流軸	中心市街地ゾーン	都市整備課 (南口再開発事務所)
市街地再開発事業を検討し、街並みに配慮した災害に強いまちをつくる。	市街地再開発事業	本町1丁目市街地再開発事業の成立性を踏まえ、都市計画決定に向けて取り組む。	事業主体の協力	国、県、市街地再開発組合	短期	環境軸	中心市街地ゾーン	都市整備課

自然エネルギーを活用して、環境港湾にふさわしいみなとまち船橋をイメージした施設を整備する。	照明灯整備	JR船橋南口駅前広場に、太陽光、風力の自然エネルギーを活用した照明灯を設置する。			短期	環境軸	中心市街地ゾーン	都市整備課 (南口再開発事務所)
商店街の電柱の撤去・看板の撤去をする。	船橋市屋外広告物条例による適正指導	船橋市屋外広告物条例に基づき違法広告物の防止に向けて指導監視を強化する。			短期	経済軸	中心市街地ゾーン	都市計画課
船橋駅を降りて海のおいにするまちをつくる(サイン・木かげ・トイレ・ベンチなどのストリートファニチャー)。	立体横断施設整備	船をイメージした立体横断施設(デッキ)を整備する。			短期	観光・交流軸	中心市街地ゾーン	都市整備課 (南口再開発事務所)
船橋駅南口再開発事業にあわせて海の雰囲気伝える明るい玄関口づくりを推進する。	県道及び広場の歩道整備	波をイメージしてインターロッキングブロック(透水性)で舗装する。			短期	観光・交流軸	中心市街地ゾーン	都市整備課(南口再開発事務所)
船橋大神宮を中心に数多くの既存の文化財を活かし、歴史の体験学習などを行う。	文化財の周知及び保存	文化財を多くの人に知ってもらうために文化財マップ等を作成し、市民や関係各課等に文化財に関する情報を提供する。			短期	観光・交流軸	中心市街地ゾーン	文化課
名所・旧跡を活かしながら回遊できるネットワークを形成する。	文化財の周知及び保存	文化財を多くの人に知ってもらうために文化財マップ等を作成し、市民や関係各課等に文化財に関する情報を提供する。			短期	観光・交流軸	中心市街地ゾーン	文化課
ユニバーサルデザイン化された道をつくり、休憩できるポケットパークを設置する。	歩道整備	バイアフリー基本構想に基づく特定経路を整備する。		県	中期	観光・交流軸	中心市街地ゾーン	道路建設課

市民に海があることを知らせるために海の案内板の設置を推進する。	街なかサイン整備	PFI手法による歩行者のための誘導案内サイン整備を検討する。 船橋駅～海沿いのエリアのサインは、海のイメージを持ったデザインとする。	設置場所により管理者が異なるため、各部署の協力が必要である。		中期	観光・交流軸	中心市街地ゾーン	都市計画課
南北道路を整備する。	南北都市計画道路の整備	本町通り～市場通りまで南北道路を整備する。 (都市計画道路3・3・7号線)	事業費が莫大	国、県	中期	観光・交流軸	中心市街地ゾーン	街路課
ショップモビリティを展開する。	商業活性化	商業活性化の手段となるか研究する。	実現性について調査・研究する必要がある。	商工会議所、 商店会等	長期	経済軸	中心市街地ゾーン	商工振興課
ポケットパーク、オアシスの利用(シャッターに海のイメージの絵を描く)を図る。	維持管理	ポケットパークの管理			長期	環境軸	中心市街地ゾーン	みどり管理課
まちの発展のためにまちづくり研究所を設置する。	まちづくり活動の啓発	環境保全と活性化の両面が共生したまちづくりを目指すための協働関係を構築していく。	研究所は地域の自立性を促すものとして民設民営が望ましい		長期	経済軸	中心市街地ゾーン	商工振興課
まちの発展のためにまちづくり研究所を設置する。	商業の活性化	商業活性化の手段となるか研究する。	実現性について調査・研究する必要がある。		長期	経済軸	中心市街地ゾーン	商工振興課
ユニバーサルデザイン化された道をつくり、休憩できるポケットパークを設置する。	グリーンスポットの整備	ベンチなど休憩できる施設を設置する	積極的な用地の確保は困難なため、開発指導や道路事業などの余剰地を活用する必要がある		長期	観光・交流軸	中心市街地ゾーン	みどり推進課
駅前商店街・本町通り商店街の活性化のため、各種おまつりを開催し、内外にアピールする。	産業まつりの実施	実行委員会方式で産業まつり(ジョイ・めいど・市民まつり)を実施している。	長引く景気低迷の影響を受け非常に厳しい状況にある。	商工会議所、 商店会等	長期	経済軸	中心市街地ゾーン	商工振興課

各課対応事業一覧

【中心市街地ゾーン】

回遊性の出来る要素として古い民家を活かし、水辺に喫茶店や休憩所などの歩くポイントを設置する。	回遊性の創出	回遊性を創出し、民間の参加を促す。			長期	環境軸	中心市街地ゾーン	商工振興課
回遊路沿いに街角オアシスやスナックなどの喫茶店のような施設を整備する。	回遊性の創出	回遊性を創出し、民間の参加を促す。		商工会議所、 商店会等	長期	経済軸	中心市街地ゾーン	商工振興課
海の守り神である大神宮の行事と豊かな海の幸とを組み合わせ、楽しみながら歴史・文化を知る機会をつくる(水神祭・相撲大会のイベント化、いわし・のりなどの料理店・即売店設置、収穫祭などを新たに企画、等)。	観光としてPR	民俗行事を取材及び記録・保存し、市民に情報を提供する。	新企画の実現性について調査・研究する必要がある。	団体等	長期	観光・交流軸	中心市街地ゾーン	商工振興課 文化課
学校や地域を拠点にして海に親しむ機会をつくる。	公民館等で海に親しむ事業を実施する	「海とのふれあい講座」「千産千消エコクッキング」「海の観察学習会」	魅力ある事業プログラムの工夫が必要。安全第一が当然であるため、参加希望者全員を受け入れることができない。 調理器具の台数に限りがあるため、参加希望者全員を受け入れることができない。	船橋海洋少年団・千葉県立中央博物館・東邦大学	長期	環境軸	中心市街地ゾーン	社会教育課
学校や地域を拠点にして海に親しむ機会をつくる。	地域の海に関する学習機会の支援	社会科や理科、総合的な学習の時間等を使い、地域の海に関する教材、人材を利用した学習を支援する。			長期	環境軸	中心市街地ゾーン	指導課
漁協と商店街等といった各業種間の連携を大切に、市(いち)などを開催する。	商業の活性化	商業活性化の一手段となるか研究する。	実現性について調査・研究する必要がある。	商店街等 会議所・漁協	長期	経済軸	中心市街地ゾーン	商工振興課

魚介類や野菜などの露天市を営むことができるスペースを確保する。	商業活性化	商業活性化の一手段となるか研究する。		漁協・農協	長期	観光・交流軸	中心市街地ゾーン	商工振興課 農水産課
雑居性と動きやすさを活かした界隈性のある整備、空き店舗の活用と連続化(趣味の個展などが開催できる“街角オアシス”の設置)、ショッピングモールの設置、福祉型店舗の導入を促進する。	商業の活性化	商業活性化の一手段となるか研究する。	実現性について調査・研究する必要がある。	商工会議所 商店会	長期	経済軸	中心市街地ゾーン	商工振興課
山口横丁近辺は商店街・文化財などを活かしながら下町風情を創出する。	修景整備	電線の地中化、インターロッキング舗装、モニユメントや植栽帯の配置などにより商店街と一体感のある修景整備の検討を進める。		駅前東通り商店街 船小周辺地区を 考える会	長期	観光・交流軸	中心市街地ゾーン	商工振興課 道路建設課
市民の企画・運営によって人が集い交流する仕組みを手がける(定期的マーケットの開催や、ストリートプレイヤー等への発表の場の提供、スタンプラリー等)。	市民公益活動団体の支援	市民との協働による活力ある地域社会の創造をサポートする一環として、市民公益活動公募型支援事業による事業費の一部助成や、市民活動サポートセンターでの活動紹介資料の掲示などを行う。		市民公益活動 団体	長期	観光・交流軸	中心市街地ゾーン	市民協働課
市民の企画・運営によって人が集い交流する仕組みを手がける(定期的マーケットの開催や、ストリートプレイヤー等への発表の場の提供、スタンプラリー等)。	産業まつりの実施	実行委員会方式の産業まつり(ジョイ&ショッピングフェア、めいど・いん・ふなばし、市民まつり)において、フリーマーケットの開催やイベントでの発表の場を提供している。	実施するにあたり、交通問題等で地域住民の理解と協力が必要である。	商工会議所、 商工業観光団 体、企業、商 店会等	長期	経済軸	中心市街地ゾーン	商工振興課
時間帯により規則を設け市街地への自動車流入を制限する。	市街地への自動車流入制限	自動車の流入制限を実施するためには、制限車両の大規模公共駐車場や迂回路の確保、周辺道路の交通渋滞による環境問題や商業車両対策等、解決困難な問題が多い。		公安委員会、 地元商店会、 自治会・町会	長期	観光・交流軸	中心市街地ゾーン	総合交通計画課

商工会議所などを中心とした、まちをコーディネートする会社を設立し、まちを活性化させる。	商業の活性化	商業活性化の一手段となるか研究する。	実現性について調査・研究する必要がある。	商工会議所	長期	経済軸	中心市街地ゾーン	商工振興課
船橋駅と漁港を新交通システムで結び、港湾部・海辺への市民の誘導と回遊効果による商店街の活性化を図る。	アクセスの整備	新交通システムは民間活力の導入により整備が考えられるが、採算性は極めて悪いと予想される。	コスト面・事業時間で問題あり		長期	経済軸	中心市街地ゾーン	総合交通計画課
船橋駅南口に水揚げされた海の幸や、各種イベント情報を発信する施設を設置する。	各種情報の発信	南口再開発ビルの公共公益施設において、各種イベント等の情報を発信する。			長期	観光・交流軸	中心市街地ゾーン	関係各課
朝市などの青空商店を船橋の顔の一つとして位置づける。	朝市等の検討	船橋市観光協会朝市等を検討する。	実現性について調査・研究する必要がある。	観光協会・漁協・農協	長期	経済軸	中心市街地ゾーン	商工振興課
電線の地中化、街路樹・街灯・ベンチの整備、また、歩道のレンガ・カラー舗装化などもきれいで楽しく歩きやすいものに整備する。	南北都市計画道路の整備	南北道路の整備に合わせて街路樹、街灯の整備、歩道のカラー舗装化を実施する。	事業費が莫大	国・県	長期	観光・交流軸	中心市街地ゾーン	街路課
南北道路を整備する。	南北都市計画道路の整備	本町通～国道14号まで南北道路を整備する（都市計画道路3・3・7号線）	事業費が莫大	国、県	長期	観光・交流軸	中心市街地ゾーン	街路課
南北道路を整備する。	南北都市計画道路の整備	本町通り～市場通りまで南北道路を整備する。（都市計画道路3・4・14号線）	事業費が莫大	国、県、船小周辺まちづくりを進める会	長期	観光・交流軸	中心市街地ゾーン	街路課
歩行者ルートの充実や新交通システムを循環させるなどにより、南船橋駅方面および船橋港親水公園との有機的なアクセスの向上を図る。	アクセスの整備	新交通システムは民間活力の導入により整備が考えられるが、採算性は極めて悪いと予想される。	建設費及びランニングコストが莫大となり採算性に問題がある。		長期	観光・交流軸	中心市街地ゾーン	総合交通計画課

マリーナ施設の整備を図る。	プレジャーボート係留施設の整備促進	県により港湾計画に位置づけられた係留施設の整備を進めている。		県	短期	経済軸	船橋港ゾーン	企画調整課
ららぽーとの帰りに寄れる魚介類・野菜の市(いち)をつくる。	朝市等の検討	船橋市観光協会朝市等を検討する。	実現性について調査・研究する必要がある。	観光協会・漁協・農協	中期	経済軸	船橋港ゾーン	商工振興課
船の出入りのための浮き桟橋(さんばし)施設を設置する。	プレジャーボート係留施設の整備促進	県により港湾計画に位置づけられた係留施設の整備を進めている。		県	短期	環境軸	船橋港ゾーン	企画調整課
東京に近い土地柄を利用して、漁船とヨットによる親水性のある景観と新しい文化を創出する。	不法係留船対策の促進	プレジャーボート係留施設整備と係留保管適正化区域への指定を県に要望する。		県	短期	観光・交流軸	船橋港ゾーン	企画調整課
護岸のデザイン化(海をモチーフにした絵やアニメのキャラクター、暗くなると浮かび上がる特殊な加工を施したムーディなペイント等)を図る。	デザイン化や親水公園の延伸	小型船だまりの整備に合わせ海岸保全施設等の壁面のデザイン化や親水公園の延長等について要望していく		県	中期	環境軸	船橋港ゾーン	企画調整課
港湾の中に漁港が存在し、様々な海のビジネス展開が拠点的に展開でき、環境と調和した環境ビジネスとして観光ができる利点を活かし、観光港湾的・教育港湾的な位置づけをする。	観光的・教育的な港の位置づけ	船橋港を市民が親しめる港として、また、教育に活用できる港として位置づける。		国 県 船橋漁協	中期	観光・交流軸	船橋港ゾーン	企画調整課 商工振興課 農水産課

不法係留船の整理・撤去、荷さばき場や倉庫を統一感のある景観となるよう改良する。	不法係留船整理の促進	プレジャーボートの係留施設整備を県で進めており、不法係留船の整理や背後の景観についても配慮するよう県に要望する。		県	中期	環境軸	船橋港ゾーン	企画調整課
マリンロード構想への参加と併せて船橋版海の回廊構想の推進する。	マリンロード構想への参加	今後の係留施設の整備状況によりマリンロード構想への参加を検討する。		県	長期	観光・交流軸	船橋港ゾーン	企画調整課
みなとを全世界環境教育の拠点とするために、小・中学校を国際的な交流センターとして位置づけ、海の環境にかかわる国際シンポジウム等を行う。	環境教育の推進	三番瀬をラムサール登録湿地とすることを指すとともに、小中学校においては環境教育の場としての活用を支援する。	特になし	県等	長期	観光・交流軸	船橋港ゾーン	企画調整課 指導課
花火大会のようなイベントを地域住民・企業・商店街等の手で行う。	産業まつり、花火大会の実施	実行委員会方式で、産業まつり(ジョイ&ショッピングフェア、めいど・いん・ふなばし、市民まつり)、親水公園花火大会を平成12年度より実施している。	実施するにあたり、交通問題等で地域住民の理解と協力が必要である。また、大会運営費の確保が難しい。	商工会議所、 商工業観光団体、企業、商店会等	長期	観光・交流軸	船橋港ゾーン	商工振興課
海の行事である水神祭、湊町のまつり、花火大会を市民のまつりに発展させる。	市民まつり、花火大会の実施	市民まつりや、親水公園花火大会で、地元団体として参加・運営に携わっている。		商工会議所、 商工業観光団体、企業、商店会等	長期	観光・交流軸	船橋港ゾーン	商工振興課
海をイメージした、シンボルとなるような施設を整備する。	シンボル施設整備	民間活力により施設を整備する場合には、海をイメージする施設を整備するように協力を促す。			長期	環境軸	船橋港ゾーン	企画調整課

各課対応事業一覧

【船橋港ゾーン】

芸術・文化の推進のために、アーティストなどが集まる場所を整備する。	芸術文化活動拠点整備	パブリックアートスペースの整備を行い、芸術文化活動を支援する	事業費の確保		長期	観光・交流軸	船橋港ゾーン	文化課
交流の場として、世界の民芸品・木工細工などのものづくりショップを設立する。	ショップの整備	民間活力によるフィッシャーマンズワーフの整備にあわせ、民芸品や木工細工などものづくりショップの設立について検討する。	実現性について調査・研究する必要がある。	企業等	長期	経済軸	船橋港ゾーン	商工振興課
港の景観が昼夜楽しめるよう街路樹の植栽や安全柵や街灯を整備する。	維持管理	街路樹の管理			長期	環境軸	船橋港ゾーン	みどり管理課
港湾の環境をよくするエコポート事業により環境整備をする。	エコポート事業の推進	県の港湾整備にあたりエコポート事業に配慮するように要望する。		県	長期	環境軸	船橋港ゾーン	企画調整課
高齢者が生き生きと活動できるいこいの場を整備する。	憩いの場整備	憩いの場の創出するため親水公園の延伸整備の要望している。		県	長期	観光・交流軸	船橋港ゾーン	企画調整課
市民・企業の協力で東京湾船橋博覧会を開催する。	東京湾博覧会の開催	商工業観光団体と連携しながらその可能性について検討する。	実現性について調査・研究する必要がある。	商工業観光団体、企業等	長期	観光・交流軸	船橋港ゾーン	商工振興課
集客力を高めるために、イベントなどを開催できる施設を整備する。	親水公園の延伸整備	現在の親水公園の南側への延伸整備を県に要望する。		県	長期	経済軸	船橋港ゾーン	企画調整課

各課対応事業一覧

【船橋港ゾーン】

親水公園と漁港部を結ぶ遊歩道と、新交通システムを整備する。	アクセスの整備	新交通システムは民間活力の導入により整備が考えられるが、採算性は極めて悪いと予想される。	採算性が極めて悪いことが予想され、コスト面・事業時間で問題がある		長期	観光・交流軸	船橋港ゾーン	総合交通計画課
親水公園と漁港部を結ぶ遊歩道と、新交通システムを整備する。	アクセスの整備	県が排水機場の改修を行う際に、本計画の主旨に併せた整備を行うよう要望する。		県	長期	観光・交流軸	船橋港ゾーン	下水道施設課
船橋に残っている歴史性高い建物を移築・再活用したり、日本民家を建設して「文化村」をつくる(水産物・みやげコーナー、喫茶店等)。	ショップの整備	民間活力によるフィッシャーマンズワーフの整備にあわせ、日本民家の雰囲気を感じられるような施設整備を提案する。		県 漁協等	長期	経済軸	船橋港ゾーン	企画調整課 商工振興課 農水産課
船橋港から三番瀬までの海上アクセスを整備する。	三番瀬海上アクセスの整備	民間活力の導入により整備を考えられるが、採算性が極めて悪いと予想される。		企業	長期	環境軸	船橋港ゾーン	商工振興課
船橋港を環境教育の拠点とし、子供達の教育の場として、ここを千葉県全体の海の環境教育の港とする。	船橋港における環境教育	環境教育の拠点として自然環境の観点から三番瀬ゾーンが中心となると考えている。海の賢明な利用(港湾施設、漁業)についても、自然との共生の観点から三番瀬ゾーンにおける展示等が適当と考える。	拠点の整備は、目的、展示内容等からそれに適した場所の選定が必要となる。同じような展示は分散するよりも集中する方が効果が高いと思慮される。		長期	環境軸	船橋港ゾーン	企画調整課
船舶操縦、マリンスポーツ等を活かし、ライセンス取得などの環境整備を図る。	マリンスポーツ環境の整備	ライセンス取得などの環境整備について県に提案する。		県	長期	観光・交流軸	船橋港ゾーン	企画調整課

東京に近い土地柄を利用して、漁船とヨットによる親水性のある景観と新しい文化を創出する。	修景整備	不法係留のヨット等について係留施設を設けることにより、漁船との棲み分けを行い、親水性のある景観とする。		県 漁業組合	長期	観光・交流軸	船橋港ゾーン	企画調整課
東京湾博物館などを、国・県などにはたらきかけて整備する。	東京湾博物館構想の研究	東京湾博物館構想について研究する。			長期	環境軸	船橋港ゾーン	企画調整課
日の出第2荷捌き場付近に東京湾で捕れた魚の市場、シーフードレストランなど、フィッシャーマンズワーフを整備する。	フィッシャーマンズワーフの整備	民間活力の導入により地場産の新鮮な魚介類等の販売や飲食ができるフィッシャーマンズワーフの整備を促進する。		国 県 船橋漁協	長期	経済軸	船橋港ゾーン	企画調整課 商工振興課 農水産課
浜町船だまりは堤防の整備、および不法係留船を撤去して、漁師まちらしい街並みを整備する。	修景整備	浜町船だまり付近を中心に、港らしい雰囲気を感じる回遊空間を創出する。			長期	環境軸	船橋港ゾーン	企画調整課
浜町船だまりは堤防の整備、および不法係留船を撤去して、漁師まちらしい街並みを整備する。	不法係留船整理の促進	県へプレジャーボート係留施設の整備促進、係留保管適正化区域への指定を要望し、不法係留船の整理を促進する。		県	長期	環境軸	船橋港ゾーン	企画調整課

マリーナを整備し、プレジャーボートの不法係留船の撤去を図る。そして、マリンスポーツの基地として整備する。(講座開講、体験の場提供、親子で楽しめる空間)	不法係留船対策	県へプレジャーボート係留施設の整備促進、係留保管適正化区域への指定を要望し、不法係留船の整理を促進する。		県	短期	観光・交流軸	潮見・日の出ゾーン	企画調整課
湊中学校北側水路を親水性のある環境に配慮した公園整備を図る。	身近な公園の整備	日の出公園の整備	安全性と親水性のかい離	県	長期	環境軸	潮見・日の出ゾーン	みどり推進課
ITコンピューターで世界の水産物の先物取引の拠点にする。	商業の活性化	商業活性化の一手段となるか研究する。		企業等	長期	経済軸	潮見・日の出ゾーン	商工振興課
エコシティにふさわしい次世代産業の誘致を行う。	エコシティを踏まえた地区形成	地区特性からみた環境保全効果と活性化に資する産業の誘致のあり方(インセンティブ)について検討し、その地区にふさわしい新産業の誘導を目指す。実現性について調査・研究する。		企業等	長期	経済軸	潮見・日の出ゾーン	商工振興課
海の曲線を織り込み、港湾部は相互から対岸が見えることを活かして、向こうの景色を鑑賞できるように工夫する。	修景整備	日の出、栄町、西浦の老朽化した護岸を改修し、港湾機能の整備と遊歩道、公園、車道の併設による回遊性と流通性の向上を図る検討を進める。	事業費が莫大	県	長期	環境軸	潮見・日の出ゾーン	企画調整課

海浜公園そばの公共埠頭に新たな水上バスの発着場を整備する。	水上バス発着所の整備	民間活力の導入により整備が考えられるが、採算性が極めて悪いと予想される。	海浜公園への交通アクセスのひとつとして考えられるが、採算性が問題。	企業等	長期	観光・交流軸	潮見・日の出ゾーン	企画調整課 商工振興課
岸壁を緩傾斜にしてハゼが釣れるなど、もう少し幅の広い楽しみのある公園にする。	アメニティーゾーンの創出	海岸保全施設を市民が楽しめるような施設とするように県に要望している。		県	長期	環境軸	潮見・日の出ゾーン	企画調整課
護岸の改修時に企業の協力を得ながら、臨海部各地区を結ぶ遊歩道を海岸沿いに設け、新たな散策ルートを整備する。	護岸整備	直立護岸を市民が海へアクセス(遊歩道)できる様な護岸として整備するように県へ要望している。	利用ルールなどの整備が必要	県	長期	観光・交流軸	潮見・日の出ゾーン	企画調整課
工業地域のなかで企業の協力を得て、企業と市民が共生する自然で豊かな環境、海とのふれあいの場、自然を体験できる場の創出を図る。	親水性の確保	企業の協力を得て回遊ルートの創出を検討する。	企業の理解と協力が重要である。	企業等	長期	環境軸	潮見・日の出ゾーン	商工振興課
三番瀬の自然と都市的な機能が融合・共生するよう、屋上・壁面の緑化、街路樹の植樹、遊休地の公園緑地的活用を積極的に推進する。	都市環境計画の推進	都市環境計画の推進による緑化の推進			長期	環境軸	潮見・日の出ゾーン	みどり推進課
市民と企業の協働による企業岸壁の開放と回遊ルートの創出を図る。	親水性の確保	企業の協力を得て回遊ルートの創出を検討する。	企業の理解と協力が重要である。	企業等	長期	環境軸	潮見・日の出ゾーン	商工振興課

人間と産業との繋がり・連携、産業構造を考えながら港の将来利用に合わせた都市機能の環境整備を図る。	都市機能の整備	産業構造の変化や港湾のニーズに合わせた都市機能を目指す。			長期	経済軸	潮見・日の出ゾーン	企画調整課
西船橋と潮見を結ぶシャトルバスの運行を推進する。	交通アクセスの検討	民間活力の導入により整備が考えられるが、採算性は極めて悪いと予想される。	採算性が極めて悪く、委託を受ける事業者が見つからない		長期	経済軸	潮見・日の出ゾーン	総合交通計画課
西船橋方面から海浜公園までの道路や二俣川沿いを緑豊かで海をイメージできるよう意匠化された回遊道・サイクリングロード、遊歩道などを整備する。	遊歩道の整備	アクセス道路は市川市域のため、海をイメージするような遊歩道などの整備について、市川市に要望する。		市川市	長期	観光・交流軸	潮見・日の出ゾーン	企画調整課
船橋港地域の環境観光港湾という位置づけからバックヤードである潮見・日の出地域にアトリエなどの誘致を図る。	民間活力の導入	親水性空間の創出に伴い、集客などの状況により民間活力による進出を働きかける。	実現性について調査・研究する必要がある。	企業等	長期	経済軸	潮見・日の出ゾーン	商工振興課
日の出から潮見町地区への交通アクセスを整備する。	交通アクセスの検討	民間活力の導入により整備が考えられるが、採算性は極めて悪いと予想される。	採算性が極めて悪く、委託を受ける事業者が見つからない		長期	経済軸	潮見・日の出ゾーン	総合交通計画課
浜田橋下の橋詰め公園を起点に親水性に富んだ回遊路を設け、日の出水路沿いを質の高いアメニティゾーンとして創出する。	アメニティゾーンの創出	県へプレジャーボート係留施設の整備促進、係留保管適正化区域への指定を要望し、不法係留船の整理を促進する。		県	長期	観光・交流軸	潮見・日の出ゾーン	企画調整課

各課対応事業一覧

【若松・高瀬ゾーン】

高瀬下水処理場の上部を有効活用し、ホテルやトンボなど生態系をいかした施設整備をする。	下水処理場の利用	高瀬下水処理場の周景施設は「船橋市都市環境計画」の重点施策として位置づけられており、整備計画では、水処理施設の上部に人工地盤を設けスポーツ広場等の多目的利用、及び処理場敷地内の緑化の推進、更に親水広場等の水辺の創出を図る予定である。		国、県	長期	環境軸	若松・高瀬ゾーン	下水道施設課 生涯スポーツ課
JR 南船橋駅を中心に、オートレース場や競馬場などの再開発事業の一環として、エンターテイメントエリアを整備する。	土地利用の研究	南船橋駅を中心とする地区のあり方について研究する。		県、企業	長期	観光・交流軸	若松・高瀬ゾーン	企画調整課
テニスコート、野球場等のスポーツ施設が集中している現状をふまえ、子供からお年寄りまでが楽しんで運動できる環境を整備していく。	施設の維持管理	若松公園内にあるスポーツ施設を市民が安全に安心して利用できるようにする。	施設の老朽化		長期	環境軸	若松・高瀬ゾーン	生涯スポーツ課
現親水公園の南北への延長拡大と、海を意識できる空間整備を行う。	親水公園の延伸整備	市民が海に近づけるようにするため、船橋港親水公園を南側に延伸整備を県に要望している。		県	長期	環境軸	若松・高瀬ゾーン	企画調整課
高瀬地域の西岸壁区域を、料理・食材が楽しめる海が見えるレストランエリアとして整備する。	観光スポットの整備	新たな観光資源として研究する。	実現性について調査・研究する必要がある。	企業等	長期	経済軸	若松・高瀬ゾーン	商工振興課
殺伐とした産業的な景観とならないよう東京湾の景観が楽しめるようなウォーターフロントを整備する。	修景整備	浜町2～3丁目西側付近の県有遊休地、市道、隣接民有地を一体にした再生事業により商業拠点的なウォーターフロントの創出を目指す。	市有地がないため事業をリードしにくい。	県、京葉港埠頭会	長期	環境軸	若松・高瀬ゾーン	商工振興課

殺伐とした産業的な景観とならないよう東京湾の景観が楽しめるようなウォーターフロントを整備する。	親水公園の延伸整備	市民が海に近づけるようにするため、船橋港親水公園を南側に延伸整備を県に要望している。		県	長期	環境軸	若松・高瀬ゾーン	企画調整課
食品工場などの見学により各企業の活性化と市民への工場地帯の理解を促す。	観光スポットの整備	新たな観光資源として、工場見学できる工場を位置付ける。	企業の理解と協力が重要である。	企業等	長期	経済軸	若松・高瀬ゾーン	商工振興課
食品産業の集積地としての利点を活かし、工場見学や観光スポットとしてのレストランなどを整備する。	観光スポットの整備	新たな観光資源として、工場見学できる工場を位置付ける。	企業の理解と協力が重要である。	企業等	長期	観光・交流軸	若松・高瀬ゾーン	商工振興課
親水公園～県出先機関～突端までを公園化し、若松公園までを連結して、緑のベルトとする。	緑のベルト整備	県出先機関～突端まで緑化を要望する。		県	長期	観光・交流軸	若松・高瀬ゾーン	企画調整課
親水公園～県出先機関～突端までを公園化し、若松公園までを連結して、緑のベルトとする。	公園の管理	若松公園の管理		県	長期	観光・交流軸	若松・高瀬ゾーン	みどり管理課
親水公園周辺に船舶学習のできる船を利用した水上レストランを設置する。	水上レストランの設置	新たな観光資源として研究する。	民間活力の導入による整備が考えられるが、採算性の問題が予想される。	県	長期	観光・交流軸	若松・高瀬ゾーン	商工振興課
点在公共施設(県出先機関等)の集約や南船橋駅を玄関口とする食品観光地帯の整備を図る。	観光スポットの整備	新たな観光資源として研究する。	実現性について調査・研究する必要がある。	県	長期	経済軸	若松・高瀬ゾーン	商工振興課
南船橋駅南口遊休地の活用を図る。	遊休地活用	南船橋駅南口の遊休地利用は企業庁で整備を検討しており調整を行う。		県	長期	観光・交流軸	若松・高瀬ゾーン	企画調整課

三番瀬を船橋の名所にするような整備を行う。	漁場改良事業 漁場環境改善事業	漁場内の環境再生(藻場の造成)等の実施	東京湾全体の環境回復	国、県、船橋 漁協	短期	観光・交流軸	三番瀬ゾーン	農水産課
市民が体験できる漁業の整備を図る。	漁場体験と漁業現 況講座	船橋漁業の伝統的な海苔の養殖場の見学お よび海苔加工場の見学を実施中であり、今後 発展させる。	沖合い漁場での安全性の確保	船橋漁協	長期	経済軸	三番瀬ゾーン	農水産課
インターネットの活用等により世界中にPRし、エコシ ティふなばしとしての地位を確立する。	エコシティの啓発	海老川流域源流部の谷津田から河口・湾岸部 の三番瀬に至るまでの生態系保全と市内の資 源循環の取り組みによる地域経済活性との両 立を目指すため、市民団体との連携により情 報を発信し、サポーターによる野生生物保護 の支援の輪の拡大と国際交流の発展につなげ る。		県 市川市 浦安市 市民団体	中期	環境軸	三番瀬ゾーン	企画調整課
ラムサール条約への登録を目指す。	ラムサール登録の 推進	三番瀬のラムサール条約への登録に向けて、 国県に要望している。		市川市浦安市 県環境省	中期	環境軸	三番瀬ゾーン	企画調整課
海岸線の緑化を推進する。	緑化の拡大	都市公園としての位置づけなどを含め、海浜 公園の将来利用について検討する。	県で検討している三番瀬再生計画検 討会議の推移を見ながら進める必要 がある。	県	中期	環境軸	三番瀬ゾーン	商工振興課 みどり推進課
海浜公園前にグリーンベルトを創出する。	緑地の拡大	都市公園としての位置づけなどを含め、将来 利用について検討する。	敷地の1/2は、県からの借地であ り、県で検討している三番瀬再生計画 検討会議の推移を見ながら進める必 要がある。	県	中期	環境軸	三番瀬ゾーン	商工振興課 みどり推進課

各課対応事業一覧

【三番瀬ゾーン】

<p>海浜公園を含む一帯を、緑や花に囲まれた自由広場、のんびりと歩ける遊歩道、サイクリングコース、家族で利用できるキャンプ場、楽しい海の学校(楽校)等を新たに設置し、ゆっくりくつろげるいこいの空間を創出する。</p>	<p>海浜公園施設管理</p>	<p>将来利用について検討する。</p>	<p>開園以来20年が経過しており、施設整備が大変である。敷地の1/2は、県からの借地である。交通アクセス問題。</p>	<p>県、企業等</p>	<p>中期</p>	<p>観光・交流軸</p>	<p>三番瀬ゾーン</p>	<p>商工振興課</p>
<p>海浜公園を含む一帯を、緑や花に囲まれた自由広場、のんびりと歩ける遊歩道、サイクリングコース、家族で利用できるキャンプ場、楽しい海の学校(楽校)等を新たに設置し、ゆっくりくつろげるいこいの空間を創出する。</p>	<p>都市公園としての位置づけ</p>	<p>都市公園としての位置づけなどを含め、将来利用について検討する。</p>		<p>県</p>	<p>中期</p>	<p>観光・交流軸</p>	<p>三番瀬ゾーン</p>	<p>みどり推進課</p>
<p>船橋の自然の象徴でもある三番瀬を活かし三番瀬ミュージアムを整備する。</p>	<p>海浜公園の整備</p>	<p>海浜公園を含め将来利用計画を検討する。</p>	<p>県で検討している三番瀬再生計画検討会議の推移をみながら進める必要がある。 海浜公園の1/2は県有地である。</p>	<p>国 県</p>	<p>中期</p>	<p>観光・交流軸</p>	<p>三番瀬ゾーン</p>	<p>企画調整課 商工振興課</p>
<p>潮干狩りや海水浴にきた人を、楽しませる屋台村を設置する。</p>	<p>海浜公園の整備</p>	<p>将来利用のあり方の中で検討する。</p>	<p>県で検討している三番瀬再生計画検討会議の推移をみながら、進める必要がある。</p>	<p>県・企業等</p>	<p>中期</p>	<p>経済軸</p>	<p>三番瀬ゾーン</p>	<p>商工振興課</p>
<p>海洋生物に触れ合えるような各種イベントを「三番瀬ミュージアム」を拠点に開催する。</p>	<p>船橋三番瀬クリーンアップ</p>	<p>市民団体・事業者・環境団体・行政で構成する実行委員会方式により、毎年秋に船橋海浜公園地先砂浜や干潟の清掃や自然観察会等を通して、三番瀬に対する理解と関心を深め、三番瀬の保全を図る。平成13年度から実施し、三番瀬を囲む、市川市、浦安市と共同開催である。平成14年度は、全国モーターボート競走施行者協議会の助成を受け、三番瀬ガイドブックを作成する。</p>	<p>事業費の確保</p>	<p>船橋三番瀬クリーンアップ実行委員会</p>	<p>長期</p>	<p>環境軸</p>	<p>三番瀬ゾーン</p>	<p>環境保全課</p>

三番瀬舟つき場を設置して、船橋港と連絡する。	海浜公園への交通アクセスの検討	路線バスやそれ以外での交通アクセスの検討。	民間活力の導入による整備が考えられるが、採算性の問題が予想される。	立地企業等	長期	観光・交流軸	三番瀬ゾーン	商工振興課
市民が気軽に行けるような、交通システムを整備する。	アクセスの整備	民間活力の導入による整備が考えられるが、採算性は極めて悪いと予想される。	交通混雑の改善が図れるが、コスト面・事業時間がかかりすぎる。		長期	経済軸	三番瀬ゾーン	総合交通計画課
谷津干潟を持つ習志野市、三番瀬を共有する市川市との連携をはかり、貴重な干潟の保全・再生を推進する。	公共用水域の水質監視	本市地先海域の水質(月一回4地点)、底質(5年に1回4地点)の調査を実施する。また、生物調査を市民参加により定期的実施する。	市民調査員の養成、調査方法の確立	県、環境省	長期	環境軸	三番瀬ゾーン	環境保全課

付 録

海を活かしたまちづくり庁内検討会規約

(目的及び設置)

第1条 「生き生きとしたふれあいの都市・ふなばし」を目標とする船橋市総合計画の主要施策である、海を活かした魅力あるまちづくりの実現を目指し、当該計画案及び千葉港港湾計画の見直し案に対する意見をまとめるため、「海を活かしたまちづくり庁内検討会」(以下、「検討会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 検討会の所掌事務は、次に掲げる通りとする。

- (1) 海や漕・水路、川の活用やその周辺地の利用を明らかにする。
- (2) 海を活かした魅力あるまちづくりの実現に向けて、全体計画と推進計画を策定する。

(組織)

第3条 検討会は、別表に掲げる各課長をもって充てる。

- 2 検討会に会長及び副会長を置く。
- 3 会長は企画担当助役、副会長は企画部長をもって充てる。
- 4 会長は、検討会を総括し、これを代表する。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 検討会は、必要に応じて会長が召集する。

- 2 会長及び事務局は、必要があるときは検討会に別表に掲げる者以外の者の参加を求めることができる。

(作業部会の設置)

第5条 検討会に作業部会を置く。

- 2 作業部会は、検討会会長が指名する職員並びにヤングボード(30歳未満の職員)をもって組織する。
- 3 作業部会に部会長を置き、部会長は企画調整課長をもって充てる。
- 4 作業部会は、部会長が招集し、作業の進行及び整理をする。
- 5 作業部会は、次に掲げる事項を調査・研究する。

(1) 検討会から指示された事項

(2) 検討会に付議すべき事項

(事務局)

第6条 検討会及び作業部会の事務局は、企画部企画調整課が所掌する。

付 則

この要領は平成12年5月23日から施行する。

(別表)

「海を活かしたまちづくり庁内検討会」構成課一覧

会 長	企画担当助役		
副 会 長	企画部長		
部	課	部	課
市長公室	広報課	道路部	道路管理課
	防災課		道路建設課
企画部	企画調整課		下水道部
	総合交通計画課	下水道計画課	
総務部	行政管理課	河川管理課	
財政部	管財課	河川整備課	
保健福祉部	保健福祉推進課	建築部	宅地課
市民生活部	自治振興課	消防局	総務課
環境部	環境保全課		警防課
	環境衛生課		予防課
経済部	クリーン推進課	管理部（教委）	総務課
	商工振興課	生涯学習部 （教委）	社会教育課
	農水産課		文化課
都市計画部	都市計画課		青少年課
	まちづくり推進課	生涯スポーツ課	
都市整備部	都市整備課	女性ボード	男女共同参画課
	みどり推進課	事務局	企画部企画調整課
	みどり管理課		